

札幌都心アクセス道路検討会（第3回）

議事概要

1. 日 時 平成 29 年 12 月 18 日（月）13 時 00 分～14 時 30 分

2. 場 所 T K P 札幌駅カンファレンスセンター 2 B

3. 出席者

- 札幌市 中田都市計画担当局長
- 北海道 渡邊建設部長
- 北海道開発局 原建設部長

4. 議 事

（1）各機関における創成川通の検討内容について

【 主な発言 】

- ・ 創成川通の構造の概略検討を行うにあたり、区間毎の現道の課題、物理的制約、配慮事項について提示し、留意事項及び構造毎の概算費用の算出を行った。
- ・ 定時性・速達性の確保や現道の課題解決には立体交差構造が優位で交差点改良では十分な効果が得られない等。
- ・ 現道の交通課題や地域のまちづくり計画等に配慮した、高架構造、地下構造、交差点改良案の組み合わせを引き続き検討。
- ・ 創成川通の機能強化による広域の整備効果について、周辺市町からの意見を収集。札幌市以外でも医療、観光、暮らし、物流・経済等の整備効果が期待されており、周辺市町にとっても創成川通の機能強化が重要。
- ・ 平成 42 年度末の北海道新幹線札幌延伸により、更なる観光客の増加が期待され、その効果を全道に波及させるためにも道内各地へアクセスするための創成川通の整備が必要。
- ・ 創成川通から高速道路へのアクセス向上による高速道路利用者の利便性を高めるため、新千歳空港 IC や苫小牧中央 IC の新設を行ってきている。今後、広域的な整備効果を最大限発揮するための取組の検討を行う。
- ・ 札幌都心部は、通過交通を分離する観点が必要であり、まちづくりの重要な拠点であることから、都心まちづくり計画と整合した道路構造の検討が必要。
- ・ 本検討会における検討状況を踏まえ、まちづくりに必要な創成川通の道路構造等について、市民とのさらなる認識共有を進めて行く。

以上